

2020年4月10日
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平
担当ワーキンググループ主査 石田 健一

ミャンマー国チャウセ・ガスコンバインドサイクル火力発電所建設事業
(協力準備調査(有償))
ドラフトファイナルレポートに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2020年3月19日(金) 14:00~17:05
- ・場所：JICA 本部 (1階 111 会議室)
- ・ワーキンググループ委員：石田委員、小椋委員、原嶋委員、米田委員
- ・議題：ミャンマー国チャウセ・ガスコンバインドサイクル火力発電所建設事業(協力準備調査(有償))に係るドラフトファイナルレポートについての助言案作成
- ・配付資料：
 - 1) 【DFR】ミャンマー国チャウセ・ガスコンバインドサイクル火力発電所建設事業(協力準備調査(有償))
 - 2) 【EIA】ミャンマー国チャウセ・ガスコンバインドサイクル火力発電所建設事業(協力準備調査(有償))
 - 3) 【A-RAP】ミャンマー国チャウセ・ガスコンバインドサイクル火力発電所建設事業(協力準備調査(有償))
 - 4) 【SC 案回答表】ミャンマー国チャウセ・ガスコンバインドサイクル火力発電所建設事業(協力準備調査(有償))
 - 5) 【SC 案助言対応表】ミャンマー国チャウセ・ガスコンバインドサイクル火力発電所建設事業(協力準備調査(有償))
 - 6) 回答表及び別添資料
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010年4月)

全体会合(第112回委員会)

- ・日時：2020年4月10日(金) 14:00~17:33
- ・場所：Skype 会議

上記の会合にて助言を確定した。

助言

全体事項

1. 本事業の水パイプラインの一部が ancient city area in heritage zone に敷設される。この地域の状況及び規制の有無について、FR に記述するとともに、JICA の環境社会配慮ガイドライン（以下、「JICA GL」）適合性について FR にて説明すること。

環境配慮

2. 乾季のベースライン調査が移行期に実施されていることから、大気・水質・動植物調査等、関連分析結果への調査時期の影響の有無を確認し、その結果を FR に記述すること。その結果必要があれば、詳細設計段階において乾季のベースライン調査を追加的に行うことを FR に記述すること。
3. 道路沿いの巨木についてはいまだ生態的、社会的、文化的な価値が不明であり、かつ地域の人々によって利用されている可能性が想定されるため、極力、伐採は避けること。詳細設計段階では生態系の調査に加えて住民へのインタビューを行うことで巨木の価値と利用状況を明らかにしそれでも事業の目的のためには伐採せざるを得ないという計画を提示する場合には、調査結果を十分に住民に説明し丁寧な合意形成を行うことが欠かせない。伐採を行う場合は十分な緩和策を講じること。

社会配慮

4. ガスと水のパイプラインの地下敷設と配電線架設に伴う土地利用制限が生じた場合の当該土地所有者に対する補償の実施について、JICA GL の趣旨に適合した対応をとること。当該土地所有者に補償の内容について適切に情報提供を行い、合意形成に努めること。
5. ミンゲ川において、家庭内の消費を目的とした小規模な漁業への影響評価を行い必要に応じて対策を構築するため、可能な範囲で追加調査を行い、その結果を FR に記述すること。

以 上